

令和8年度千葉市図書館のサービス取組項目及び評価指標

千葉市図書館のサービスの向上を図るため、「千葉市図書館ビジョン 2040」における目標達成に向けた2つの基本目標と施策の柱を基本に、令和7年度事業計画に基づく、令和8年度の取組項目及び評価指標を定めました。

■ 図書館サービスの基本的な取組事項

資料費を有効に活用し、図書館全体としての計画的な収集、適正な管理、迅速な提供及び基本的な資料提供サービスの充実に努めます。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
新規登録者数 (公民館図書室での登録者を含む)	19,097 人	対前年度比増
小学校の新入生や図書館未利用者への PR の強化等により、対前年度比増を目指します。 ※過年度実績 R6 年度:19,488 人 R5 年度:19,492 人		
来館者数	206.8 万人	対前年度比増
未利用者への PR の強化や、魅力ある講座・企画展示の実施等により、対前年度比増を目指します。 ※過年度実績 R6 年度:208.9 万人 R5 年度:207 万人		
年間貸出利用率 (1 年に図書館を利用した市民の割合)	市民の 5.9%	現状維持
利用の少ない層への利用促進を図り、現状維持に努めます。 ※過年度実績 R6 年度:6.8% R5 年度:7.6%		
年間受入図書資料数 (公民館図書室での受入を含む)	36,814 冊 (内訳) 購入 18,134 冊 寄贈 18,580 冊 (寄贈内訳) 一般書 12,910 冊 児童書 3,291 冊 郷土 2,379 冊 その他 100 冊	現状維持
限られた資料費を有効に活用するため、新しい図書資料を計画的に購入するとともに、寄贈による収集も併せて行い、対前年度比増を目指します。 ※過年度実績 R6 年度:41,103 冊(うち購入 22,690 冊 寄贈 18,275 冊 その他 138 冊) R5 年度:44,239 冊(うち購入 25,560 冊 寄贈 18,528 冊 その他 151 冊)		
図書資料整備費 (上段:当初予算額、下段:決算額)	87,255 千円 (うち電子書籍 10,257 千円)	現状維持
	71,806 千円 (うち電子書籍 9,669 千円)	

(案)

評価指標		R7 年度実績	R8 年度達成目標
資料の充実を図るため、引き続き予算対応を行うとともに、寄付金受入や募金箱の設置を行うなど、厳しい財政状況下において可能な限りの予算確保に努め、現状維持に努めます。			
※過年度実績 R6 年度:当初予算 94,428 千円(うち電子書籍 10,299 千円)、決算 78,678 千円(うち電子書籍 9,278 千円) R5 年度:当初予算 92,144 千円(うち電子書籍 8,282 千円)、決算 78,396 千円(うち電子書籍 7,501 千円)			
市民一人当たり貸出数 及び総貸出数 (公民館図書室での貸出含む)		一人当たり 3.6 冊 (総貸出数 361 万冊)	現状維持
図書館の利用増を図ることなどにより、現状維持に努めます。			
※過年度実績 R6 年:3.8 冊(総貸出数 374 万冊) R5 年:3.9 冊(総貸出数 387 万冊)			
図書館ホームページ	ログイン数	3,008,377 件	対前年度比増
	WEB 予約率	予約数全体の 82.9%	
WEB サービスの周知を図ることなどで、図書館ホームページへのログイン回数及び WEB 予約率の対前年度比増を目指します。			
※過年度実績 (ログイン数) R6 年度:2,992,802 件 R5 年度:2,923,515 件 (WEB 予約率) R6 年度:82.5% R5 年度:81.9%			
電子書籍	ログイン数	167,366 回	対前年度比増
	提供コンテンツ数	14,028 点	
	利用冊数	254,405 点	
	予約点数	6,763 点	
利用者ニーズの高い電子書籍を選書・提供し、利用者の需要と傾向を見ながら、様々な利用者が満足できるような電子書籍の購入・拡充を図り、対前年度比増を目指します。			
※過年度実績 (ログイン数) R6 年度:186,942 回 R5 年度:63,366 回 (提供コンテンツ数) R6 年度:13,620 点 R5 年度:12,872 点 (利用冊数) R6 年度:297,524 点 R5 年度:89,170 点 (予約点数) R6 年度: 5,641 点 R5 年度: 6,505 点			

(案)

■ 令和8年度主要事業

項 目	取組説明	予算措置
(1)千葉市図書館地域情報デジタルアーカイブ化計画(第2次)の策定	千葉市図書館地域情報デジタルアーカイブ化計画(第1次)の成果と課題を検証し、千葉市図書館地域情報デジタルアーカイブ化計画(第2次)を策定します。	—
(2)市民インタビューによる記憶の保存	千葉市図書館地域情報デジタルアーカイブ化計画(第1次)に基づき、デジタル資料の提供やインタビュー手法を用いて、隠れたエピソードや失われつつある記憶といった「千葉市民の知」を発掘・記録・発信するとともに、これらの情報についてレファレンスサービスとリンクした活用を推進し、地域情報サービスの充実を図ります。	2,375 千円
(3)地域情報のデジタル化	地域情報をアーカイブ化し、インターネット上で公開します。	1,509 千円
(4)レファレンス機能の充実	市民や企業等からの高度な情報ニーズに対応するため、法律や経済等のオンラインデータベースを提供し、レファレンスの機能の充実を図ります。	3,465 千円
(5)電子書籍サービスの提供	デジタル社会に対応した学校の読書活動などを支援するため、電子書籍サービスを提供します。	9,372 千円
(6)千葉市子ども読書活動推進計画(第5次)の策定	本市における子どもの読書活動を一層推進するため、今後の施策の基本的方針と具体的方策を定める「千葉市子ども読書活動推進計画(第5次)」を策定し、それに基づき取組みを推進します。	—

(案)

図書館ビジョン 2040 の基本目標に対する取組項目

【基本目標 1】特長のある「知の拠点」の実現

■ 令和8年度取組項目

1 未来へつなぐ「知」の収集・保存、利活用の促進

(1) 千葉市図書館地域情報デジタルアーカイブ化計画(第2次)の策定

- ア 千葉市図書館地域情報デジタルアーカイブ化計画(第1次)の成果と課題を検証し、千葉市図書館地域情報デジタルアーカイブ化計画(第2次)を策定します。

【主要事業(1)】

(2) 「千葉市民の知」の計画的な集積と発信

- ア 千葉市図書館地域情報デジタルアーカイブ化計画(第1次)に基づき、デジタル資料の提供やインタビュー手法を用いて、隠れたエピソードや失われつつある記憶といった「千葉市民の知」を発掘・記録・発信するとともに、これらの情報についてレファレンスサービスとリンクした活用を推進し、地域情報サービスの充実を図ります。

(予算:2,375[千円])

【主要事業(2)】

(3) 本市の歴史的文書の整理・保存など

- ア 本市の歴史的な資料の整理・保存、セミナーや座談会での使用、企画展示その他の効果的な活用について、検討し、実施します。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
地域行政資料の収集冊数 (公民館図書室での収集冊数を含む)	2,570 冊	現状維持
行政資料の紙媒体の発行点数は減少傾向にありますが、収集・保存方法を工夫することなどにより、現状維持に努めます。		
※過年度実績 R6 年度:3,300 冊 R5 年度:3,702 冊		

(4) 「知」の提供プラットフォーム(基盤)の構築(「知」の見える化)

- ア 地域情報をアーカイブ化し、インターネット上で公開します。

(予算:1,509[千円])

【主要事業(3)】

(5) デジタル・アーキビスト等の専門人材の養成

- ア デジタルの知識や技能を有するデジタル・アーキビスト等の専門人材の養成について、必要な資格取得の支援などを行い、人材の養成を進めます。

(案)

(6)「知」の発掘などに関する市民協働体制の構築

- ア 地域で活動している郷土史研究家や教員 OB などに依頼してモデル的に地域に関する情報収集を実施し、その結果を検証した上で、収集方針やボランティアの活動を支援する仕組みなどの検討を行います。

【主要事業(2)】

(7)学習成果などの「市民の知」の発表などに対する支援

- ア 地域の歴史などについて、自主的・主体的に研究などを行っている団体への支援内容に関する調査について検討します。

2 「知」をつなげるプラットフォーム(基盤)などの構築(多様な主体による知の創出・活用)

(1)SNS(Social Networking Service)を活用したイベント情報の発信

- ア X(旧 Twitter)により、企画展示、講演会、おはなし会など学びのきっかけとなるイベント情報を発信します。

(2)学びや調査研究を支援する知的な交流の場の提供

- ア 市民が集まって学べるスペースや市民間で議論ができるミーティングルームなどの整備について、施設の改修等にあわせて、検討します。

(3)市民と知識、知識と知識をつなぐ活動の推進

- ア 市民の課題解決を支援するため、レファレンスサービスの充実を図ります。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
レファレンス受付件数	84,376 件	対前年度比増
サービスの PR を強化することなどにより、市民の一層の利用を促進し、対前年度比増を目指します。		
※過年度実績 R6 年度:86,080 件 R5 年度:82,169 件		

- イ 出会いのある図書館利用の促進や、地域の交流の場とするため、講座や企画展示などによる情報発信をします。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
一般向き図書館講座の 開催回数及び参加者数	15 回 261 人	対前年度比増
市民にとって魅力あるテーマ設定や PR 方法の工夫等により、対前年度比増を目指します。		
※過年度実績 R6 年度:15 回・240 人 R5 年度:19 回・478 人		

(案)

(4)生涯学習センター・公民館等との連携・協力の強化

- ア 市内の生涯学習施設、教育機関、公的機関、類縁機関等と連携し、資料の収集や提供を行うとともに、各種事業の実施に際して相互に事業協力を行います。
- イ 公民館図書室のサービス向上のため、選書、レファレンス、研修等の支援を行います。

3 未来を担うこどもたちの読書環境の充実

(1)計画的なこどもの読書活動の推進

- ア 本市におけるこどもの読書活動を一層推進するため、今後の施策の基本的方針と具体的方策を定める「千葉市こども読書活動推進計画(第5次)」を策定し、それに基づき取組みを推進します。

【主要事業(6)】

- イ 読書習慣を形成する上で、大きな役割を担う家庭での読書活動をすすめるための「ファミリーブックタイム」運動を推進します。また、地域で読書活動を進める地域・家庭文庫などを支援します。

(2)こどもたちが利用しやすい読書環境の整備・充実

- ア こどもの本を知り、本を手渡す技術を修得するため、必要な研修を実施するとともに、講師として講座事業が実施できるよう、人材の育成を図ります。

(3)こどもの本の充実

- ア すべてのこども(乳幼児から青少年)の読書活動を支える資料の充実を図り、読書環境の整備に努めます。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
児童(小学生)一人当たりの児童用図書の貸出冊数	31.68 冊	現状維持
年齢と関心にあった資料の充実・提供や、YA コーナーの充実などにより、現状維持に努めます。		
※過年度実績 R6 年度:31.94 冊 R5 年度:32.32 冊		

(4)こどもや保護者を対象とした取組みの充実

- ア 本の楽しさを知り、話し手と聞き手のコミュニケーションを図れるおはなし会やわらべうたの会を定期的に実施するほか、家族や親子で楽しめる会も開催し、家庭での読書活動につなげます。

(案)

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
おはなし会等の開催回数及び参加者数	956 回 15,785 人	対前年度比増
周知方法やイベント内容に工夫を加えることなどにより、対前年度比増を目指します。 ※過年度実績 R6 年度：861 回・15,830 人 R5 年度：798 回・13,870 人		

イ こどもたちが、図書館を十分活用し、必要な情報を収集できるよう、図書館の見学会や資料の検索講座などを行うほか、保護者などに対し、こどもの読書の意義及び目的を啓発します。また、司書課程の学生の受け入れ、インターンシップ実習、ボランティア体験の受け入れを行います。

ウ こどもが読書に親しむきっかけを作るとともに、家庭での読書の習慣付けを図るため、新就学児を対象に図書館の利用登録について周知広報を行います。

また、未就学児(年長児)、小学生を対象に読書手帳を配布します。

(5)移動図書館車の活用

ア 移動図書館車が学校等に訪問することで、こどもたちが学校等にいながら本市図書館の図書資料に触れる機会の提供について検討します。

(6)学校・学校図書館との連携・協力の推進

ア 学校と連携し、児童・生徒の図書館見学や職場体験を積極的に受け入れるとともに、学校への団体貸出や、図書館から職員等が学校に出向いておはなし会等を行います。

また、学校図書館運営委員会において、選書や運営に関する情報交換を行う等、学校図書館と図書館や公民館図書室が連携してこどもの読書活動の推進を図ります。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
学校等関連施設と連携事業を行った回数	220 回	対前年度比増
学校等に対して各種事業を積極的に PR することなどにより、対前年度比増を目指します。 ※過年度実績 R6 年度：280 回 R5 年度：192 回		
団体貸出による児童図書の提供数	12,208 冊	現状維持
学校、地域・家庭文庫等に対する団体貸出の利用を働きかけることなどにより、現状維持に努めます。 ※過年度実績 R6 年度：13,250 冊 R5 年度：11,205 冊		

イ 図書館資料を市内小・中・特別支援学校で活用するための支援として、「学校レファレンス用カード」の利活用の推進を図ります。

(案)

(7)「千葉市民の知」の学校教育での活用

ア 収集した「千葉市民の知」を授業で活用する際の支援について検討します。

(8)その他の取組み

ア 地域おはなしボランティアの育成を図り、協働して、学校、地域、施設などでの活動を進めます。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
地域おはなしボランティア活動 実施回数及び派遣人数	53 回 116 人	対前年度比増
地域おはなしボランティアの活動の場を拡大することなどにより、対前年度比増を目指します。 ※過年度実績 R6 年度:40 回・106 人 R5 年度:41 回・130 人		

イ 子育て支援施設、生涯学習施設その他で行われるこどもの読書活動推進にかかわる事業について、連携・協力します。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
連携事業等実施数	70 件	対前年度比増
学校以外の機関等との連携を一層推進することにより、対前年度増を目指します。 ※学校以外の機関(保育所・公民館等)との連携により実施した、市民を対象とした事業の数 R6 年度:62 件 R5 年度:57 件		

(案)

【基本目標 2】新たな時代に適応する運営の実現

■ 令和8年度取組項目

1 誰もが利用しやすいサービス環境の実現

(1) 利便性の高い場所へのサービスポイントの設置

- ア 利用者の利便性を高めるため、駅前の商業施設などに予約本の受取返却ができるサービスポイントの設置について、施設の再整備にあわせて検討します。
- イ 図書館施設が近くにない地域などに対し、移動図書館車による図書館サービスを提供します。

(2) 開館日・開館時間の最適化

- ア 利用者の利便性を高めるため、地域の実情に即した開館日・開館時間の最適化について、費用対効果を踏まえながら検討します。

(3) インクルーシブ(包括的)な利用環境の整備

- ア 「図書館利用に何らかの障害がある人すべて」に対して、資料を利用する上での障害を、対応機器の整備や人的配慮などにより取り除き、情報提供に努めます。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
図書館利用に障害のある方への 情報提供	対面音訳件数 0 件 貸出冊数 6,015 点	対前年度比増
DAISY 図書(デジタル録音図書)の作成や、著作権法改正に伴い利用対象が拡大した録音資料の活用を図るとともに、サービスの PR を強化することなどにより、対前年度比増を目指します。		
※過年度実績 R6 年度:対面音訳 0 件・貸出冊数 6,714 件 R5 年度:対面音訳 0 件・貸出冊数 6,117 件		

- イ 日本語以外の言語を母語とする市民のニーズを把握し、中央図書館を中心に、外国語資料の収集・提供や地域の中で生活する上で必要な情報の提供に努めます。

(4) 自動貸出機などによる貸出サービスのセルフ化

- ア 利用者の利便性を高めるため、ICT を活用したサービスを提供します。(IC タグ、自動貸出機の導入等)

(案)

(5) 情報環境の整備

ア 市民や企業等からの高度な情報ニーズに対応するため、法律や経済等のオンラインデータベースを提供し、レファレンスの機能の充実を図ります。

(予算:3,465[千円])

【主要事業(4)】

(6) 電子書籍サービスの提供

ア デジタル社会に対応した学校の読書活動などを支援するため、電子書籍サービスを提供します。

(予算:9,372 [千円])

【主要事業(5)】

(7) その他の取組み

ア 利用者にとって、見やすく、使いやすい図書館環境を整えとともに、さまざまな危機事案に適切に対応できる体制を整えます。

イ 市民の図書館利用を促進するため、多様な媒体で、積極的な広報活動を行います。

ウ よりよい図書館運営を図るため、多くの市民のご意見を伺う機会を設けます。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
千葉市図書館利用アンケート調査(利用者満足度調査)における満足度	満足度 94.3% (満足 59.1%・やや満足 35.2%)	現状維持
満足度全体の達成目標は現状維持としますが、満足度の構成割合における「満足」の比率が増加することを目指します。		
※過年度実績 R6 年度:満足 56.0%・やや満足 38.3%・計 94.3% R5 年度:満足 57.3%・やや満足 38.3%・計 95.6%		

2 新たな「知の拠点」づくりに向けた運営基盤の再構築

(1) 図書館職員の知識経験を活かす効果的な配置と人材の育成

ア 図書館サービスをはじめ、行政分野や地域の課題にも精通し、高度で的確なサービスを提供できる専門職員の確保と育成に努めます。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
職員を対象とした図書館業務に関する研修の実施・参加回数 及び受講者数	29 回 延べ 244 人	対前年度比増
研修内容の向上を図りつつ、実施回数及び受講者数は対前年度比増を目指します。		
※過年度実績 R6 年度:39 回(延べ 259 人) R5 年度:44 回(延べ 223 人)		

(2) 中央図書館の機能強化及び地区図書館・地区図書館分館の再編

(案)

ア 司書等の専門分野を特定するとともに、その分野における能力開発を進め、市民等からの高度な情報ニーズに的確・迅速に対応できる人材、知的交流をファシリテートできる人材の養成について検討します。

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
司書資格を有する職員の割合	55.7% (正規職員 23.8 % 会計年度任用職員(2級)100%)	対前年度比増
司書資格を有する正規職員の配置を要望することなどにより、対前年度比増を目指します。 ※過年度実績 R6 年度:54.8% (正規 21.8% 会計年度任用(2級)100%) R5 年度:56.8% (正規 22.3% 会計年度任用(2級)100%) (注) 実績は翌年度 4 月 1 日現在(例:R7 年度→R8.4.1 時点)		

イ 地区図書館・地区図書館分館の再編について、施設の再整備に合わせ検討します。

(3)図書館施設の老朽化への対応

ア 老朽化の進む社会教育施設を適切に維持するため、令和7年度に策定した「千葉市社会教育施設保全計画〔公民館・図書館〕」に基づき、施設整備を進めていきます。

イ 千城台公民館・若葉図書館再整備について建築工事に着手し、施設整備を進めていきます。
(生涯学習振興課予算)

ウ 土気公民館(図書室を含む)・土気市民センター・土気いきいきセンター再整備について設計業務等を実施します。
(生涯学習振興課予算)

(4)運営資金を確保する新たな手法の検討

ア 運営資金の確保に努めるため、寄付金受入や募金箱の設置及び雑誌カバーを活用した広告事業等による広告料などにより、予算対応を行うとともに、地元企業などからの支援やクラウドファンディングなど、新たな手法について検討します。

(5)関係機関との連携

ア 市民の持つ様々な技術、知識、経験をボランティアとして、図書館サービスに資することで、豊かな体験ができる活動の場を増やします。

イ 図書館相互間、地域の生涯学習施設、公的機関、各種団体などとの協力を推進します。

(案)

評価指標	R7 年度実績	R8 年度達成目標
図書館間相互貸借資料数	借受 8,578 冊	現状維持
	貸出 7,391 冊	対前年度比増
他の図書館との協力を一層推進することにより、対前年度増を目指します。(借受は、千葉市図書館の資料充実を図り、現状維持に努めます。) ※過年度実績 R6 年度:借受 8,884 冊・貸出 7,327 冊 R5 年度:借受 8,392 冊・貸出 8,200 冊		

(6)その他の取組み

ア 図書館運営に多様な市民の意見を反映させるため、図書館協議会に、公募による委員を登用します。